

2016 年 4 月 12 日

**早期がんの発見に貢献する技術を発明した当社社員が
平成 28 年度文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）を受賞**

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、早期がんの発見に貢献する、「狭帯域光観察(NBI)内視鏡システム」の発明者が、「平成 28 年度 文部科学大臣表彰」において「科学技術賞」(開発部門)を受賞したことをお知らせします。

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めています。(文部科学省 HP より)

●受賞者

医療要素開発 1 部 後野 和弘
医療イメージング技術開発 1 部 野波 徹緒

●受賞発明技術の概要

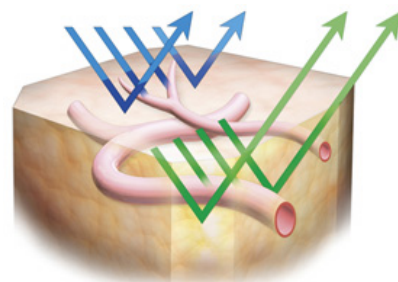
医療用内視鏡は、消化管などの粘膜表層にできるがんなど微細病変の早期発見などに貢献しています。通常の内視鏡では、暗い体内の粘膜表面を白色光で照らして観察しますが、狭帯域光観察(Narrow Band Imaging^{※1}= NBI)内視鏡システムでは、血液中のヘモグロビンに吸収されやすい狭帯域化された 2 つの波長(青色光: 390~445nm/緑色光: 530~550nm)の光で照らして観察するため、粘膜表層の毛細血管と粘膜微細模様が強調して表示されます。がんは自らを大きくするため血管を増やして栄養分を取り込もうとする特性があり、がんが拡大すると毛細血管が増え粘膜表面が込み入った模様が変わるため、NBI でがんの早期発見をサポートすることができます。

当社は今後も「早期診断」と「低侵襲(ていしんしゅう)」を核として 医療コストの削減、患者さんの QOL (生活の質) の向上に貢献していきます。

※1 Narrow Band Imaging は、オリンパス株式会社の登録商標です。



狭帯域光観察(NBI)機能を搭載した
内視鏡ビデオスコープシステム「EVIS LUCERA ELITE」



狭帯域光観察(NBI)では、緑色光と青色光
を利用して、粘膜表層部と深部の血管を鮮
明に表示します

本リリースに掲載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。